



開催内容はホームページでも紹介しています

中高生世代が市長に政策提言！ 第六期長期計画・調整計画策定に向けた 「むさしの未来ワークショップ」

武蔵野市では、市が目指すべき未来やそれを実現する政策を決める長期計画に基づき市政運営を行っています。

現在は、令和2年度から始まった第六期長期計画の期間中ですが、その後の社会の変化に対応し、計画の実効性を保つために、調整計画の策定を進めています。その策定段階の1つ「むさしの未来ワークショップ」を紹介します。

中学生から
高校生世代までの
18名が参加
しました



むさしの未来ワークショップ

実施日：7月28日

時間：午前10時から午後4時

午前は、武蔵野市のことや未来の課題について知り・学び、午後にはグループでの意見交換や提言に向けた検討を行いました。



ワークショップは、千葉大学オボッサム研究グループが開発した「未来シミュレータ」を基に行われました。

Mission 2

グループワークで考えを深める

さまざまな課題について、一人ひとりが2050年の市長として考えたことをグループで話し合い、考えを深めて提言にまとめました。



お互いの
意見を聞くと
新しい視点が
見えてくるね



グループワークで出た各グループの意見が模造紙にびっしり！

Mission 1

未来の課題を知り、考える

「環境・エネルギー」、「産業」、「人口問題」、「保育・教育」、「介護」など、未来の武蔵野市を知り、2050年の市長になった設定で、対応しなければいけないことについて考えました。



当日使用したテキストがダウンロードできます

さまざまな
課題を知って
未来のために
今できることを
考えよう！



Mission 3 松下市長に政策を提言

参加者が提言した主な内容を紹介します。

- 〈提言1〉高齢者による保育所をつくる
- 〈提言2〉余った食料をエネルギーにする仕組みを検討する
- 〈提言3〉学校での人権・法教育を義務化する



ワークショップ参加者の皆さん

今回の提言も踏まえて、第六期長期計画・調整計画の検討を進めていきます。

今後も市民参加の取り組みへの参加をお待ちしています。